

# こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 353-6311 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442  
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130  
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail [info@cpgkyoto.jp](mailto:info@cpgkyoto.jp) 2022年2月27日



## 梶川憲さんが南区で第一声

4月10日投票の京都府知事選挙に出馬表明された梶川憲さんが、20日午後、九条大宮で南区第一声。現府政は、コロナ対策など国言いなり。梶川さんは、労働団体の議長。中小零細企業や市民団体の皆さんたちと一緒に、要求運動の先頭に立ってこられた方です。

予算案提案で、市長は「今年度の収入は、当初予算に比べ2百億円増加の見込み」、その大部分を「基金（市の貯金）からの借金返済に充てる」。更に「来年度収入は、今年度より56億円増える」と見込んで「等々と説明しました。『予算の概要』という市の文書でも、コロナ禍で税金減が危惧されたが『影響は想定より小幅、今年度は『収入が大幅に予算を上回る見込み』」

17日、市長が来年度市予算案を議会に提案。「財政危機」と称し、敬老乗車証改悪や保育園への補助金削減など市民向け予算を大幅に減らす内容ですが、実は、「危機」は思ったほどではないことが分かってきました。予算編成の前提が崩れており、日本共産党市会議員団は「市民サービス切り捨て予算はイチから見直し、組み替えるべきだ」と提案しています。

**市長「今年度の収入は、予算より2百億円増加の見込み」**  
**「行財政改革」の前提が崩れる**  
**「財政危機」は口実だったのか!?**

等々と書かれています。要するに、「財政危機」だ、「財政が破綻するから行財政改革（削減と値上げ）が必要だ」と言ってきた前提が崩れ、「財政」ではなく「財政危機論」が破綻したことになりま。ところが、予算案は相変わらず「危機」を前提とし、「市民の皆様にご負担をお願いするものもございますが」（市長）との内容案されています。

## 国・府・市「軽度の人々は自分で判断してね」

コロナ対策について、国や府・市は、検査は「症状の出ている方優先」と、無症状感染者の方は後回し。自宅療養者も、待機の期間について「何日経てばOK。自分で判断してね」とのこと。井上議員は「足

## 主な値上げ、切捨て、削減の項目

- 国民健康保険料値上げ
- 学童保育料 //
- 敬老乗車証交付時負担金 //
- 動物園入園料 //
- 市民活動総合センター使用料 //
- いきいき市民活動センター //
- 福祉ボランティアセンター //
- 長寿すこやかセンター //
- 深草墓園納骨堂 //
- 青少年科学センター //
- 動物取扱業登録申請審査手数料 //
- 介護保険事業者指定手数料 //
- 民間保育園職員給与補助金削減
- 来年度も引き続き施設使用料などの値上げを準備 等々等

## コロナ相談の主な電話番号

- ◎ 体調不良 414-5487
- ◎ 感染された方・その濃厚接触者の方 0570-000-538  
 または、746-2520（保健所から連絡がこない場合）  
 746-2600（その後）

らない検査キットや保健所の薄い体制の範囲での対応でなく、市民の命と健康を守るに足る体制の充実を目指す。べき」と求めています。

## 「不足額」過大見積りのおオカミ少年

- 2020年秋「今後、毎年500億円の財源不足」
- '21年春「21年度予算で236億円不足」
- '21年秋「22年度は123億不足の見込み」
- '22年2月「21年度収入は予算より200億円増加の見込み」
- '22年2月補正予算「187億を借金返済に充てる」（急いで返済せずとも、他に使うべき）